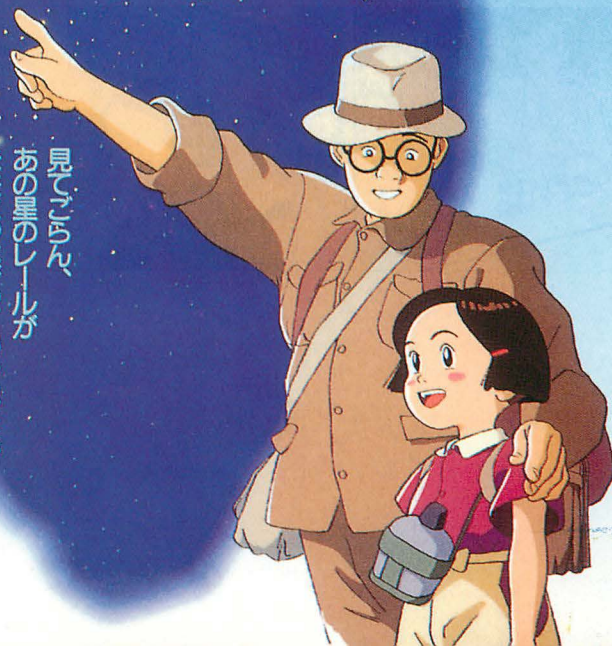


あの日、—ミコがいて、  
お花ちゃんもいて、龍一くんもいた...



# お星さまのレール

見てごらん、  
あの星のレールが  
未来にながっているんだよ。



全国学校図書館協議会選定  
日本図書館協会選定  
厚生省中央児童福祉審議会特別推薦  
日本こどもの本研究会選定  
第30回サンケイ児童出版文化賞受賞

原作 小林千登勢

(金の星社刊)

監督 平田敏夫

《声の出演》

鷹森淑乃・田中秀幸  
潘 恵子・坂本千夏



# お星様のレール

平和と家族の絆の尊さを描く感動のドラマ…

## ■かいせつ

◆人気女優・小林千登勢さんの実体験を描いた、同名の児童文学（金の星社刊）をもとに作られました。

◆物語は、1940年から46年まで、朝鮮半島を舞台に、主人公チコの目を通して、植民地時代から敗戦、そして進駐軍監視下の生活から日本への引揚げの体験を綴ったものです。

◆この映画は、朝鮮半島での「戦争」を、明るく元気な少女チコの目に映った疑問や悲しみとして描くことで、植民地支配の矛盾と海外での戦争体験を訴えかける作品です。

◆協同組合全国映画センターが第一回作品としてテレビ東京と共同で製作にあたり、監督は、「はだしのゲン2」「カツパの三平」のベテラン・平田敏夫。また挿入歌の「夜空で星が生まれるように」を、子どものためのアルバムを製作するなど意欲的な活動を続ける益田宏美（旧姓・岩崎）が歌っています。

## ■ものがたり

1940年、朝鮮の北、新義州。主人公チコは5才。お父さん、優しいお母さん、お世話をしてくれる朝鮮人のお花ちゃん。そして妹のミコ。チコはあたたかい愛に包まれスクスクと育っていました。

やがて、小学校の入学式を前に、ランドセルを買ってもらうことになりました。真っ赤なランドセルで学校に行くのを楽しみにしていたのに、包みから出てきたのは国防色のランドセル……。「今、日本は戦争をしているんだ、ぜいたくはいけない…。泣きじゃくるチコに優しく言い聞かせるお父さん。初めてチコの周りで起きた“戦争”でした。

それから、父の出征、妹ミコの死、家を離れていくお花ちゃん。日増しに激しくなる戦争と、日本の朝鮮支配の暗い影。やがて、1945年、戦争は日本の敗戦で終わりました。そして、チコ一家は朝鮮から日本への引揚げの逃避行が始まります……。



＊女優 小林千登勢の体験記  
感動のアニメーション化！

製作………竹内 守  
企画………米川巧真  
プロデューサー……大塚 聡/堀 有三  
脚本………浦畑達彦/朝倉秀雄  
監督………平田敏夫

キャラクターデザイン……兼森義則  
作画監督………君塚勝敦  
音楽………坂田晃一  
主題歌「夜空で星が生まれるように」  
唄・益田宏美（ビクター）

## 未来の平和を語り合ってほしい。

今、戦争を知らない人口の方が多くなってしまいました。戦争を語りついでくれる人も少なくなってしまったわけです。

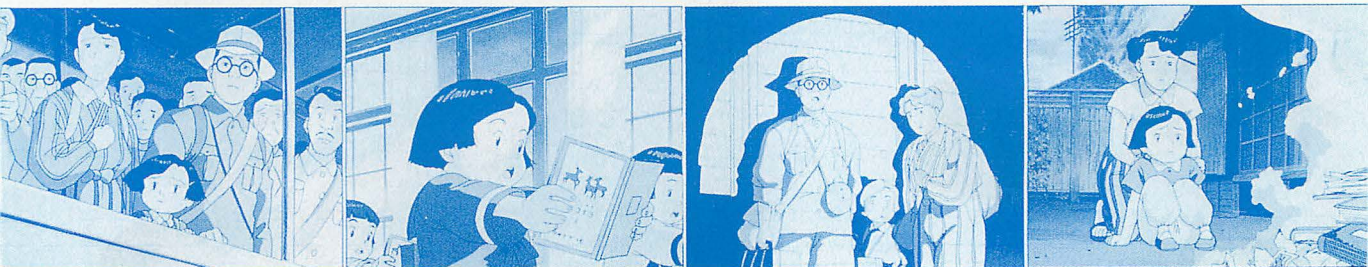
平和な未来をきづくためには、過去の歴史をみつめて、考えなければと思います。この映画が少しでもアジアのかけ橋になってくれば、そして、一人でも多くの子ども達に観てもらって、未来の平和を語り合ってもらえればと願っています。



小林千登勢

原作  
小林千登勢  
(金の星社刊)

全国学校図書館協議会選定  
日本図書館協会選定  
厚生省中央児童福祉審議会特別推薦  
日本こどもの本研究会選定  
第30回サンケイ児童出版文化賞受賞



(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101